

ロンドンの鉄道

鉄道路線

ロンドンでは、地上・地下を問わず、ほとんどの路線が第三軌条方式（日本では東京メトロ丸の内線・銀座線が採用しているパンタグラフではなく、線路横の集電線から電力を得る方式）を採用している。そのため、特急ユーロスターを含め、高速運転を行うことが出来ない。

日本に比べ軌道状態はあまりよくなく、時々集電靴が集電線から離れて室内が停電したりする。

ロンドンには地上線・地下鉄・トラムの3種類の鉄道がある。地上線は元国営で、現在は民営化され、重荷中距離～長距離の輸送をし、Waterloo, Victoria, King's Cross等の7つの主要駅や、市内の中規模駅から国内各地に路線を巡らせている。行先が主要駅の場合は駅名に”London-”を付け、（例：London-Waterloo等）ロンドン行だと分かるようにしている。地下鉄は12路線・289駅があり、各主要駅や市中心部の要所を通るようになっている。トラム（路面電車）は近年、市外周部を中心に復活しており、今後は市中心部にも路線が出来る予定である。